

サバイバルゲーム場づくりに奮闘中

延岡 岡富山施業森林組合の有志

高平山を切り開き「宝の山」めざして

4/23



会場づくりに奮闘する、左から伊藤さん、佐々木さん、矢野さん

ゲームはどうかという提案があった。経緯はいろいろだったがインターネットの動画などを確認すると「どんなものがあるか」といって「面白く、やってみよう」と方向性が決まったという。

「会場を見た後たちの目が輝いていた。魚釣りと一緒で、よい会場があればプレイヤーたちはどこへでも足を運ぶ。県外のチームにとっても十分魅力的な場所になる」と佐々木組合長。

会場は傾斜あり、尾根あり、林ありとサバイバルゲームにはうってつけの場所。あま

今秋までに仕上げての工事を経て正式オープンする計画。作業は急がなければならないが、孫世代の手を組んでほしいという思いがある。

「1期工事がひと段落したため、同組合では会場を使ってまだいろいろ愛好者が期間限定で無料開放する。問い合わせは伊藤副組合長（0900・712000）（0941）。

延岡市の岡富地区や南方地区などを見下ろす高平山（標高407メートル）を管理する岡富山施業森林組合（佐々木安彦組合長・405戸）の有志が、山頂付近の雑木林を切り開き、サバイバルゲーム場をつくるために奮闘している。60～70代の人たちにアドバンスをするのは孫世代の高校生たち。世代を超えたコラボレーションで、高平山初となる施設づくりを進めている。

佐々木組合長の孫で高崎市に住む高校生の佐藤あささんとその友人たちがゲームを楽しんでいたことが、アドバンスでも楽しめることになり計画が進み始めた。

作業が始まったのは昨年10月初旬。佐々木組合長（74）伊藤副組合長（68）、会計の矢野正幸さん（70）が中心となり、11月の4回のペースで山に入り、生い茂った木や草を伐採、木の根を掘り起こし、開拓を進めた。あまさんとの友人たちもこれまでに何度も手伝いに来てくれた。

「山の資源を生かして人を集め、収益につながる事業はできないだろうか」と話し合ったときに「サバイバル



今月一日に行われた、開拓作業



サバイバルゲーム場づくりの準備が進む高平山の山頂付近

大崩山開き

ユネスコエコパークの核心部



花こう岩を流れ落ちる滝。新緑と青空に映える景観に参加者から歓声が上がった



大崩山を正面に見る美人の湯駐車場で
行われた山開きの安全祈願祭

岩峰群を前に安全祈願 滝までのトレッキングも

宮崎、大分両県にまたがる「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」の核心部となる大崩山（標高1644㍎）の山開きが21日、登山口に近い延岡市北川町上祝子の祝子川温泉美人の湯であった。初夏を思わせる陽気の中、主催した延岡観光協会北川支部（支部長・井本成夫北川総合支所次長）や市、地元関係者ら約50人が期間中の安全を祈願した。

大崩山の雄大な岩峰群を正面に見る会場で神事後、井本支部長が「祝子川地区には美

人の湯や神さん山、落水の滝などの観光資源があり、西郷隆盛ゆかりの地でもある。大自然を肌で

感じながら楽しんでほしい」とあいさつした。安全祈願祭に続き、祝子川支流の武平谷にある滝までのトレッキングも行われた。市内外から参加した約30人は、まばゆい日差しにきらめく新緑の中を1時間ほどかけて山歩き。花こう岩の一枚岩を3段に流れ落ちる落

差40㍎の滝に着くと、写真を撮ったり、しぶきを浴びたりしながら雄大な

自然美を満喫した。参加した延岡市出北の安東栄子さん（72）と甲

斐徳子さん（73）は「初めて来たが、青空に映える滝の眺めが素晴らしい」と感想。大分県宇佐市の会社員、植松茂さん（55）は「手つかずの自然が残る大崩山は九州でも別格の存在。また一ついい場所を知ることができた」と大崩山系の懐の深さに感動していた。

トレッキングを企画した市地域おこし協力隊の山田裕紀さん（36）は「大勢の人に参加してもらえてありがたい。天気にも恵まれ、北川町の自然の素晴らしさを知ってもらえたのではないかと話していた。下山後は、し鍋の振る舞いもあった。



トレッキングを前に記念撮影に納まる参加者

延岡市北川の鏡山頂付近を散策する第9回鏡山トレッキング大会が22日開かれ、幼児からお年寄りまで39人とスタッフの計56人が参加、ツツジなどの咲き誇る一帯での散策を楽しんだ。北川やちろまる会（井本寛代会長）主催、延岡スポーツ連盟（須田寛功代表）協賛。開会式では井本会長が

景観満喫、散策楽しむ 鏡山トレッキング大会

「遠くから足を運んでいただき感謝したい。大勢の皆さんに集まってもらえることが私たちの励みにもなりうれしい。無理をせず健康づくりに励みましょ」とあいさつ。北川総合支所の安藤俊則支所長は鏡山の由来などについても触れ「国定公園の素晴らしい眺望を楽しんでいただきたい」と歓迎の言葉を送った。

参加者は約2・5キロの1時間コースと約8キロの3時間コースに分かれ、日豊海岸の海岸線や



可愛岳、祖母傾山系の稜線（りょうせん）などからそれぞれのペースで

素晴らしい眺望の中を散策する鏡山トレッキング大会の参加者たち

トレッキングを満喫した。一帯には若つつじや山つつじの花が新緑に映え、上空には、回所を拠点に楽しんでいるパラグライダーも舞った。トレッキングを終えた

参加者たちには参加賞が贈られ、鹿鍋の振る舞いもあった。市内から誘い合せて参加したという70代の女性3人組は「高低差があり少しきつかったけどとても楽しかった」「花がとてもきれいだった」「来てよかった。風がとっても気持ちよかった」と話した。

4/23